

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月11日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ハークスレイ
【英訳名】	HURXLEY CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 青木 達也
【本店の所在の場所】	大阪市北区鶴野町3番10号
【電話番号】	06(6376)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大槻 哲也
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区鶴野町3番10号
【電話番号】	06(6376)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大槻 哲也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期 連結累計期間	第36期 第2四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	27,140,003	25,535,070	53,944,653
経常利益 (千円)	583,384	563,552	1,203,504
四半期(当期)純利益 (千円)	393,045	368,192	700,820
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	427,600	381,536	802,439
純資産額 (千円)	15,857,827	16,294,350	16,012,810
総資産額 (千円)	41,507,367	38,706,346	39,615,370
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	39.36	36.87	70.18
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.8	41.8	40.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,489,837	1,350,835	3,749,246
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	178,792	6,458	135,241
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,000,325	1,073,744	3,766,975
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,988,793	5,722,571	5,437,724

回次	第35期 第2四半期 連結会計期間	第36期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	16.96	5.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第1四半期連結累計期間において、株式会社アサヒ物流を吸収合併存続会社とし、株式会社ハーツフードサービスを吸収合併消滅会社とする合併により、連結の範囲から株式会社ハーツフードサービスを除外しております。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、持ち帰り弁当事業、店舗委託事業、店舗管理事業、店舗直営事業、その他の5つのセグメント情報の区分にわたって事業活動を展開しております。

当第2四半期連結累計期間における、各区分に係る主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。なお、各区分にかかる事業内容に変更はありません。

（持ち帰り弁当事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（店舗委託事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（店舗管理事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（店舗直営事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（その他）

平成25年4月1日付にて、当社の連結子会社でありましたレストラン事業を主とする株式会社ハーツフードサービスは、同じく当社の連結子会社である株式会社アサヒ物流を吸収合併存続会社とする合併により、吸収合併消滅会社となりました。また、株式会社ハーツフードサービスの権利義務は、(株)アサヒ物流に継承されております。

平成25年8月27日付にて、株式会社ライラックについて、「その他の関係会社」に該当することになりました。

これに伴い、平成25年9月30日現在において、当社グループは、当社のほか子会社7社、関連会社2社、その他の関係会社1社で構成されております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下での各種政策に対する経済の回復、成長への期待感から、一部の高額品を中心として、価格から価値を重視した消費マインドへと変化がみられるようになりました。しかしながら、消費全般においては、節約志向の中、物価上昇及び消費税増税への懸念が存在し、また、増税を控えていることで、消費マインドの変化が一過性である可能性も払拭できず、引き続き、楽観視できない状況が続いております。

持ち帰り弁当事業では、異業種、異業態からの参入をはじめ、競争が厳しくなる中、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、お客様にとって「価値」のある商品、サービスの提供に努めるとともに、収益性の検証、収益力の向上に努め、店舗のスクラップ、統廃合、運営形態の変更に取り組んでまいりました。

店舗委託事業においては、新規業務委託先の獲得による事業の拡大、未稼働店舗の圧縮とともに利益率の向上に努めてまいりました。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高255億35百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益2億9百万円（前年同期比26.7%減）、経常利益5億63百万円（前年同期比3.4%減）、四半期純利益3億68百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。多様化するニーズにお応えすべく、新商品の開発、メニューのリニューアルを行う中、新たな取組みとして、人気ゲームソフトの世界観を再現した「ハンター弁当」を発売いたしました。また、少年野球大会への協賛等、スポーツを通じた社会貢献活動へ積極的に取り組んでおります。

持ち帰り弁当事業の売上高は116億59百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益6億94百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

店舗委託事業

景気の回復による個人の消費動向に対し期待感はあるものの、先行きの不透明感から本格的な需要の回復には至らず、引き続き、経営環境は厳しい状況が続いております。そのような中、未稼働店舗へのテナント誘致に注力し優良委託店舗の発掘に努め、空家賃の圧縮やストック収入の増加により利益率向上に努めました。

店舗委託事業の売上高は113億45百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は1億12百万円（前年同期比102.7%増）となりました。

店舗管理事業

店舗管理事業におきましては、好調な個人需要に反して、ターゲットである法人需要は未だ慎重な傾向があり、全体としては前年並みで推移いたしました。

店舗管理事業の売上高は2億82百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は1億62百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

店舗直営事業

店舗直営事業においては、お客様のニーズにお応えすべく、熟練の技による新鮮で高品質な素材を使った自信の品々を提供しております。前期より進めてまいりました不採算店舗の閉鎖により売上高は減少しておりますが、携帯会員の加入促進ならびに本マグロフェアーを中心とした各種イベントにより既存店のお客様単価は上昇しております。

店舗直営事業の売上高は10億51百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は54百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、商品アイテム数の維持、管理を強化する中、新商品の発売を積極的に行い、商品の改廃を徹底しております。そのような中、季節限定の「フルーツデニッシュ」や新商品として「セサミチーズウインナー」を発売し、新たな売れ筋商品となっております。また、ベーカリー事業の強みを生かした本格的なカフェを立ち上げました。

物流関連事業においては、既存インフラの有効活用を図り、配送効率の向上、コスト削減を行うとともに、グループ外向け事業の拡大と物流網の再構築を推進しております。

以上の結果、その他の事業の売上高は11億95百万円（前年同期比15.9%減）、営業損失54百万円（前年同期は営業利益30百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億9百万円減少し、387億6百万円となりました。主に建物及び構築物が4億24百万円、敷金・保証金が1億62百万円、長期未収入金が1億54百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億90百万円減少し、224億11百万円となりました。主に1年内返済予定長期借入金が3億43百万円、長期借入金が4億37百万円、負ののれんが1億52百万円それぞれ減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ2億81百万円増加し162億94百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ27.27円増加し1,620.33円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の40.2%から1.6ポイント上昇し41.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ、2億66百万円減少し、また前連結会計年度末と比べ、2億84百万円増加して57億22百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、前年同期に比べ1億39百万円減少し13億50百万円となりました。これは主に、負ののれん償却額1億29百万円、貸倒引当金の減少1億39百万円および法人税等の支払1億22百万円などの支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益4億12百万円、減価償却費の計上7億5百万円に伴う収入などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は、前年同期に比べ1億72百万円減少し6百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億15百万円の支出がありましたが、有形固定資産の売却による収入1億円、差入保証金の純減額98百万円、投資有価証券の売却による収入80百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は前年同期に比べ73百万円増加し10億73百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入1億円の獲得がありましたが、長期借入金の返済による支出8億61百万円、配当金の支払額1億円、利息の支払額56百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,025,032	11,025,032	(株)東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	11,025,032	11,025,032	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日	-	11,025,032	-	4,036,649	-	3,906,288

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式 数の割合 (%)
(株)ライラック	大阪市此花区西九条1丁目12-30	4,012	36.39
(株)こやの	東京都練馬区東大泉2丁目9-18-202号	732	6.64
青木 達也	大阪市北区	330	2.99
(株)にっぱん	東京都中央区築地5丁目2-1	210	1.90
東洋ライス(株)	和歌山県和歌山市黒田12番地	118	1.07
日本ハム(株)	大阪市北区梅田2丁目4-9	109	0.99
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	107	0.97
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	106	0.97
ハークスレイ取引先持株会	大阪市北区鶴野町3-10	104	0.94
田淵 道行	東京都渋谷区	80	0.73
計	-	5,912	53.62

(注) 上記のほか、自己株式が1,033千株(発行済株式総数に対する割合9.37%)あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,033,200 (相互保有株式) 普通株式 23,400	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,944,100	99,441	同上
単元未満株式	普通株式 24,332	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,025,032	-	-
総株主の議決権	-	99,441	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,200株(議決権の数12個)含まれております。また、単元未満株式の欄には、自己株式53株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株)ハークスレイ	大阪市北区 鶴野町3番10号	1,033,200	-	1,033,200	9.37
(相互保有株式) 株)ほっかほっかフーズ	高知県高知市 旭駅前43-4	23,400	-	23,400	0.21
計	-	1,056,600	-	1,056,600	9.58

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,438,736	5,723,584
受取手形及び売掛金	2,284,643	2,269,384
有価証券	-	40,500
商品及び製品	602,658	634,059
原材料及び貯蔵品	131,185	118,250
繰延税金資産	120,227	214,854
その他	1,441,159	983,298
貸倒引当金	109,401	108,323
流動資産合計	9,909,208	9,875,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,698,534	7,273,801
機械装置及び運搬具(純額)	75,127	69,082
工具、器具及び備品(純額)	471,373	422,934
土地	12,194,216	12,194,216
リース資産(純額)	113,579	150,598
建設仮勘定	5,000	962
有形固定資産合計	20,557,832	20,111,595
無形固定資産		
のれん	227,204	200,264
その他	148,177	182,947
無形固定資産合計	375,381	383,211
投資その他の資産		
投資有価証券	1,614,809	1,511,252
長期貸付金	386,045	340,519
敷金及び保証金	5,790,682	5,628,368
繰延税金資産	115,454	101,955
長期未収入金	1,813,343	1,658,710
その他	821,153	725,196
貸倒引当金	1,768,540	1,630,071
投資その他の資産合計	8,772,947	8,335,931
固定資産合計	29,706,161	28,830,738
資産合計	39,615,370	38,706,346

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,529,433	2,520,878
短期借入金	814,000	816,000
1年内返済予定の長期借入金	4,173,140	3,829,840
未払金	1,057,178	982,020
未払法人税等	128,662	126,461
未払消費税等	89,782	67,342
賞与引当金	165,868	173,202
預り金	1,517,789	1,538,278
その他	1,689,433	1,519,730
流動負債合計	12,165,287	11,573,755
固定負債		
社債	92,500	75,000
長期借入金	6,347,250	5,909,398
退職給付引当金	42,498	43,993
負ののれん	561,540	409,467
長期預り保証金	3,367,882	3,392,295
繰延税金負債	367,758	366,451
資産除去債務	316,283	299,968
その他	341,559	341,664
固定負債合計	11,437,272	10,838,240
負債合計	23,602,559	22,411,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	9,403,868	9,672,141
自己株式	1,515,077	1,515,154
株主資本合計	15,856,257	16,124,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,062	54,936
その他の包括利益累計額合計	51,062	54,936
少数株主持分	105,490	114,960
純資産合計	16,012,810	16,294,350
負債純資産合計	39,615,370	38,706,346

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	27,140,003	25,535,070
売上原価	20,728,617	19,545,886
売上総利益	6,411,385	5,989,184
販売費及び一般管理費	6,125,551	5,779,708
営業利益	285,833	209,475
営業外収益		
受取利息	8,083	7,474
受取配当金	3,964	4,230
受取賃貸料	106,559	116,615
負ののれん償却額	167,655	152,072
業務委託契約解約益	106,007	85,059
持分法による投資利益	10,433	9,399
その他	117,633	130,162
営業外収益合計	520,338	505,014
営業外費用		
支払利息	90,221	56,351
賃貸費用	30,165	28,940
業務委託契約解約損	37,063	11,857
訴訟費用	22,155	3,780
その他	43,181	50,007
営業外費用合計	222,787	150,937
経常利益	583,384	563,552
特別利益		
固定資産売却益	81,288	31,536
投資有価証券売却益	-	4,904
受取和解金	21,640	457
その他	1,800	1,660
特別利益合計	104,728	38,558
特別損失		
固定資産除却損	42,060	158,354
固定資産売却損	1,328	349
減損損失	-	18,809
その他	21,093	12,141
特別損失合計	64,482	189,655
税金等調整前四半期純利益	623,630	412,455
法人税、住民税及び事業税	199,583	116,406
法人税等調整額	5,834	81,613
法人税等合計	193,748	34,793
少数株主損益調整前四半期純利益	429,881	377,662
少数株主利益	36,835	9,469
四半期純利益	393,045	368,192

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	429,881	377,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,367	360
持分法適用会社に対する持分相当額	913	3,513
その他の包括利益合計	2,280	3,874
四半期包括利益	427,600	381,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,764	372,066
少数株主に係る四半期包括利益	36,835	9,469

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	623,630	412,455
減価償却費	750,172	705,079
負ののれん償却額	143,674	129,265
固定資産売却損益(は益)	79,959	31,186
固定資産除却損	42,060	158,354
減損損失	-	18,809
投資有価証券売却損益(は益)	-	4,904
貸倒引当金の増減額(は減少)	323,758	139,547
賞与引当金の増減額(は減少)	8,708	7,334
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,028	1,495
受取利息及び受取配当金	12,048	11,705
支払利息	90,221	56,351
持分法による投資損益(は益)	10,433	9,399
売上債権の増減額(は増加)	111,339	15,258
たな卸資産の増減額(は増加)	8,775	18,466
仕入債務の増減額(は減少)	181,695	8,554
未払消費税等の増減額(は減少)	17,255	22,439
その他	525,781	456,788
小計	1,754,226	1,456,459
法人税等の支払額	265,282	122,607
法人税等の還付額	893	16,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,489,837	1,350,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	12,197	11,720
有形固定資産の取得による支出	222,274	315,676
有形固定資産の売却による収入	220,664	100,663
有形固定資産の除却による支出	23,311	57,934
無形固定資産の取得による支出	3,324	747
無形固定資産の売却による収入	311	178
投資有価証券の売却による収入	-	80,000
短期貸付金の純増減額(は増加)	8,672	2,016
長期貸付けによる支出	52,057	4,842
長期貸付金の回収による収入	24,826	20,518
関係会社株式の取得による支出	1,487	709
差入保証金の純増減額(は増加)	145,975	98,399
その他	68,599	72,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	178,792	6,458

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	88,578	56,492
短期借入金の純増減額（は減少）	1,113,100	18,000
長期借入れによる収入	2,369,000	100,000
長期借入金の返済による支出	2,071,418	861,152
社債の償還による支出	17,500	17,500
自己株式の売却による収入	20	-
自己株式の取得による支出	-	114
配当金の支払額	293	100,185
リース債務の返済による支出	39,714	37,407
その他	38,742	82,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,000,325	1,073,744
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	668,125	284,847
現金及び現金同等物の期首残高	5,320,667	5,437,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,988,793	5,722,571

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結累計期間において、株式会社アサヒ物流を吸収合併継続会社とし、株式会社ハーツフードサービスを吸収合併消滅会社とする合併により、連結の範囲から株式会社ハーツフードサービスを除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	2,423,426千円	2,278,630千円
貸倒引当金繰入額	16,596千円	7,793千円
賞与引当金繰入額	154,921千円	161,041千円
支払手数料	797,406千円	724,104千円
地代家賃	450,345千円	460,935千円
水道光熱費	298,019千円	285,677千円
減価償却費	290,053千円	313,968千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,989,805千円	5,723,584千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,012千円	1,012千円
現金及び現金同等物	5,988,793千円	5,722,571千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	119,903	12.00	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	99,919	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月11日 取締役会	普通株式	119,901	12.00	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	12,364,855	11,886,528	300,690	1,165,553	25,717,627
セグメント間の内部売上高又は 振替高	147,243	14,281	-	18,000	179,524
計	12,512,098	11,900,809	300,690	1,183,553	25,897,152
セグメント利益又は損失()	734,837	55,364	177,692	3,709	964,184

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計算書 計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	1,422,375	27,140,003	-	27,140,003
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,722,843	1,902,368	1,902,368	-
計	3,145,219	29,042,371	1,902,368	27,140,003
セグメント利益又は損失()	30,434	994,619	708,785	285,833

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 708,785千円には、セグメント間取引消去1,313千円、各報告セグメントには配分していない全社費用 710,099千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	11,659,687	11,345,318	282,954	1,051,361	24,339,320
セグメント間の内部売上高又は 振替高	124,611	25,338	-	5,000	154,949
計	11,784,298	11,370,656	282,954	1,056,361	24,494,270
セグメント利益又は損失()	694,692	112,244	162,147	54,319	1,023,403

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計算書 計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	1,195,749	25,535,070	-	25,535,070
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,463,267	1,618,217	1,618,217	-
計	2,659,017	27,153,288	1,618,217	25,535,070
セグメント利益又は損失()	54,670	968,733	759,257	209,475

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失()の調整額 759,257千円には、セグメント間取引消去 28,582千円、各報告セグメントには配分していない全社費用 730,674千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失()は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	39円36銭	36円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	393,045	368,192
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	393,045	368,192
普通株式の期中平均株式数(株)	9,985,429	9,985,339

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載を省略しております。

2【その他】

平成25年11月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- | | |
|-----------------------|------------|
| (イ) 中間配当による配当金の総額 | 119,901千円 |
| (ロ) 一株当たりの総額 | 12円00銭 |
| (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年12月2日 |
- (注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社ハークスレイ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西原 健二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 押谷 崇雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハークスレイの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハークスレイ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。